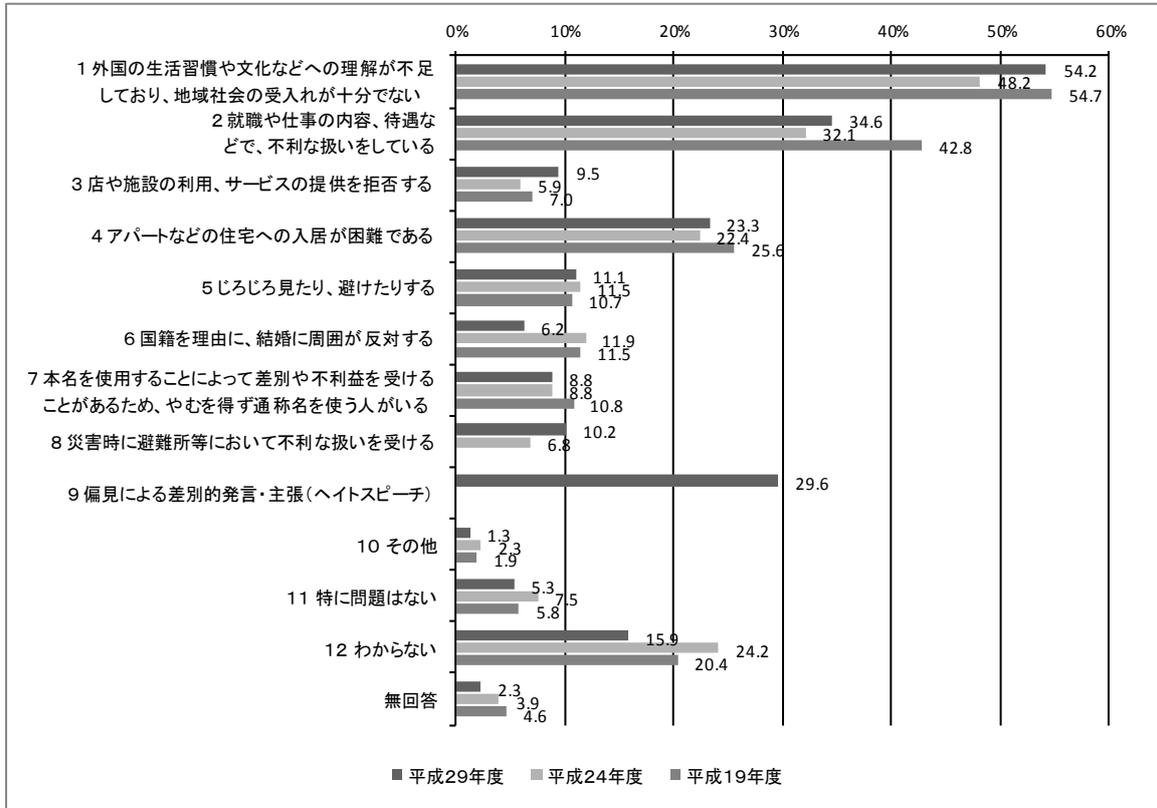


(6) 外国人の人権

問18 外国人に関することで、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。(〇は3つまで)



外国人の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でない	2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをしている	3 店や施設の利用、サービスの提供を拒否する	4 アパートなどの住宅への入居が困難である	5 じろじろ見たり、避けたりする	6 国籍を理由に、結婚に周囲が反対する	
総数(N)	1,012	54.2	34.6	9.5	23.3	11.1	6.2	
性別	男性	527	57.9	34.0	10.1	20.9	12.7	6.6
	女性	462	50.9	35.9	8.4	26.4	9.7	5.8
	不明	23	39.1	21.7	17.4	17.4	-	4.3
年齢別	18~19歳	2	50.0	50.0	100.0	50.0	50.0	-
	20~29歳	48	47.9	41.7	12.5	16.7	6.3	12.5
	30~39歳	123	45.5	39.0	13.0	32.5	9.8	5.7
	40~49歳	156	46.8	32.1	9.0	28.8	10.9	2.6
	50~59歳	133	57.1	33.8	6.8	25.6	10.5	5.3
	60~69歳	230	60.9	36.5	8.7	17.8	12.2	3.5
	70~79歳	182	61.5	33.5	9.9	23.1	8.2	8.2
	80歳以上	115	51.3	30.4	6.1	19.1	19.1	13.0
不明	23	39.1	26.1	17.4	13.0	-	4.3	

分類	合計 (人)	7 本名を使用 すること によって差別 や不利益を 受けることが あるため、や むを得ず通 称名を使う 人がいる	8 災害時に避 難所等にお いて不利な 扱いを受け る	9 偏見による 差別的発 言・主張(ヘ イトスピー チ)	10 その他	11 特に問題 はない	12 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	8.8	10.2	29.6	1.3	5.3	15.9	2.3	
性別	男性	527	9.1	7.4	32.3	1.5	6.5	13.1	1.5
	女性	462	8.2	12.8	27.5	1.1	4.1	19.3	1.9
	不明	23	13.0	21.7	13.0	-	4.3	13.0	26.1
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	12.5	14.6	35.4	-	4.2	8.3	2.1
	30～39歳	123	11.4	13.0	29.3	0.8	7.3	7.3	0.8
	40～49歳	156	12.8	15.4	40.4	1.9	4.5	11.5	1.9
	50～59歳	133	8.3	7.5	37.6	2.3	5.3	11.3	0.8
	60～69歳	230	8.3	6.5	34.8	0.4	3.0	17.4	0.9
	70～79歳	182	8.2	11.0	19.2	2.2	7.1	22.0	1.6
	80歳以上	115	1.7	5.2	13.9	-	7.0	27.8	5.2
	不明	23	8.7	21.7	13.0	4.3	4.3	13.0	26.1

【回答傾向】

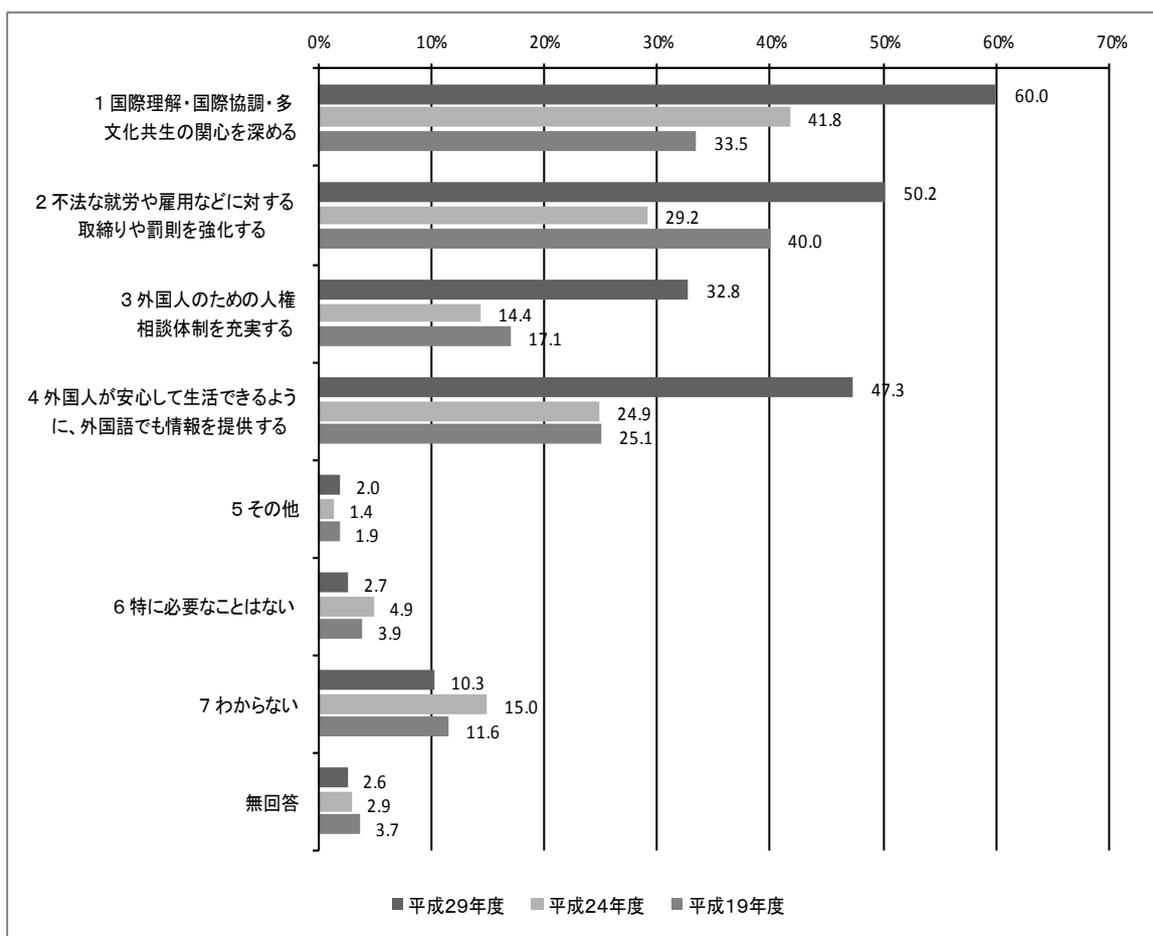
外国人に関することで、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない」が54.2%と最も多く、次いで「2 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いをしている」が34.6%、「9 偏見による差別的発言・主張（ヘイトスピーチ）」が29.6%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない」（男性：57.9%、女性：50.9%）、「9 偏見による差別的発言・主張（ヘイトスピーチ）」（男性：32.3%、女性：27.5%）、「5 じろじろ見たり、避けたりする」（男性：12.7%、女性：9.7%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 アパートなどの住宅への入居が困難である」（女性：26.4%、男性：20.9%）、「8 災害時に避難所等において不利な扱いを受ける」（女性：12.8%、男性：7.4%）となっている。

年齢別でみると、40歳代は「9 偏見による差別的発言・主張（ヘイトスピーチ）」40.4%、70歳代で「1 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受入れが十分でない」61.5%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問 1 9 外国人の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



外国人の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 国際理解・国際協調・多文化共生の関心を深める	2 不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する	3 外国人のための人権相談体制を充実する	4 外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する	5 その他	6 特に必要なことはない	7 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	60.0	50.2	32.8	47.3	2.0	2.7	10.3	2.6	
性別	男性	527	63.0	53.3	34.0	47.4	2.3	3.6	7.2	1.3
	女性	462	57.6	47.4	32.0	47.4	1.7	1.7	13.4	2.8
	不明	23	39.1	34.8	21.7	43.5	-	-	17.4	26.1
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	50.0	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	70.8	58.3	20.8	45.8	6.3	2.1	2.1	2.1
	30～39歳	123	62.6	51.2	22.0	42.3	2.4	5.7	8.1	1.6
	40～49歳	156	62.8	48.1	32.7	41.7	2.6	1.3	8.3	1.3
	50～59歳	133	55.6	54.1	31.6	43.6	0.8	2.3	12.0	0.8
	60～69歳	230	61.7	47.4	37.4	51.7	2.2	2.2	7.4	0.9
	70～79歳	182	60.4	56.0	36.8	48.9	2.2	2.2	12.6	2.2
	80歳以上	115	53.0	42.6	38.3	55.7	-	4.3	17.4	7.0
不明	23	43.5	34.8	17.4	39.1	-	-	17.4	26.1	

【回答傾向】

外国人の人権が守られるために必要と思われることについて、「1 国際理解・国際協調・多文化共生の関心を深める」が60.0%と最も多く、次いで、「2 不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する」が50.2%、「4 外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」が47.3%、「3 外国人のための人権相談体制を充実する」が32.8%となっている。

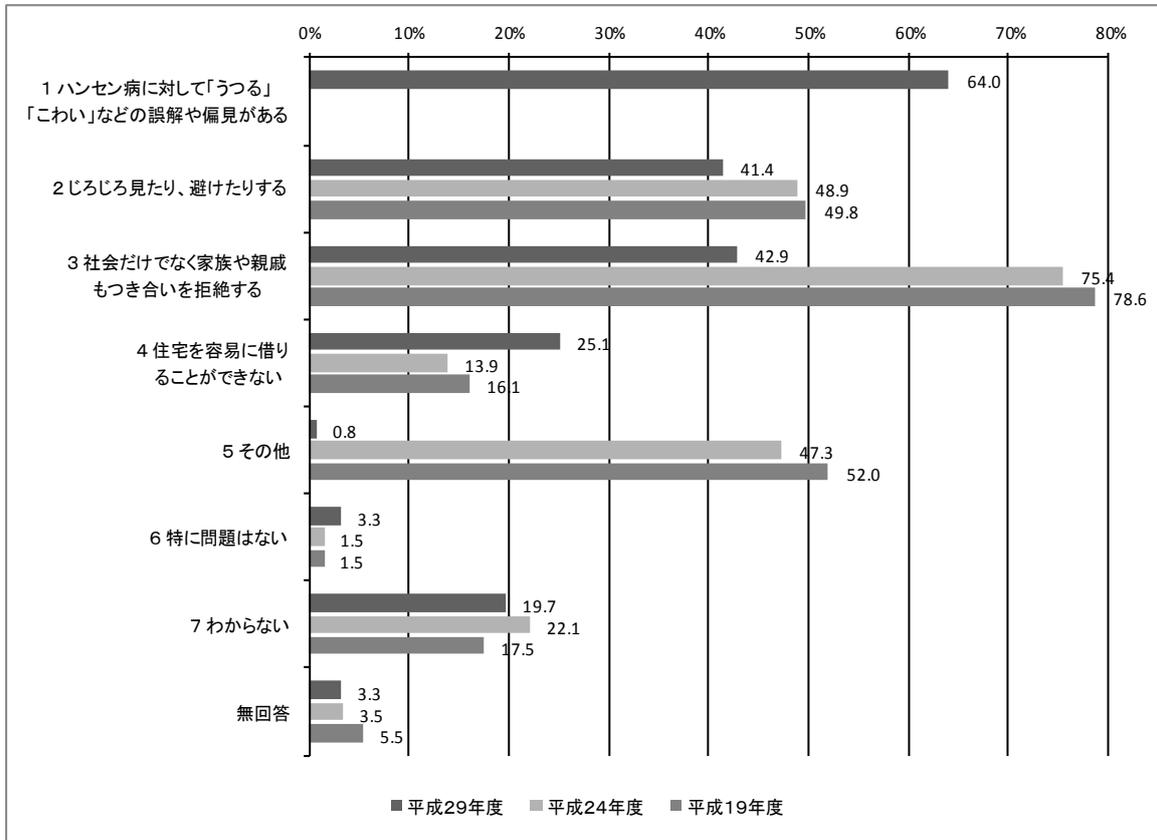
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 不法な就労や雇用などに対する取締りや罰則を強化する」（男性：53.3%、女性：47.4%）、「1 国際理解・国際協調・多文化共生の関心を深める」（男性：63.0%、女性：57.6%）となっている。

年齢別でみると、「1 国際理解・国際協調・多文化共生の関心を深める」は20歳代が70.8%、「4 外国人が安心して生活できるように、外国語でも情報を提供する」は60歳代が51.7%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

(7) ハンセン病回復者の人権

問20 療養所に入所しているハンセン病回復者が、地域で自立した生活をするために、どのようなことがさまたげになると感じますか。(〇は3つまで)



■ハンセン病回復者の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計(人)	1 ハンセン病 に対して「うつる」 「こわい」などの誤 解や偏見が ある	2 じろじろ見た り、避けたり する	3 社会だけ でなく家族や親 戚もつき合い を拒絶する	4 住宅を容易 に借りること ができない	5 その他	6 特に問題 はない	7 わからない	無回答	
総数(N)	1,012	64.0	41.4	42.9	25.1	0.8	3.3	19.7	3.3	
性別	男性	527	67.6	45.9	43.1	22.8	1.1	3.4	17.8	2.8
	女性	462	61.3	36.8	43.1	27.7	0.4	3.2	21.9	2.6
	不明	23	39.1	30.4	34.8	26.1	-	-	17.4	26.1
年齢別	18~19歳	2	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-
	20~29歳	48	64.6	37.5	58.3	20.8	-	-	16.7	4.2
	30~39歳	123	62.6	35.0	34.1	23.6	0.8	0.8	23.6	-
	40~49歳	156	63.5	39.7	37.2	26.3	0.6	3.2	19.2	1.9
	50~59歳	133	69.2	39.1	42.1	30.1	0.8	5.3	12.8	3.0
	60~69歳	230	69.1	45.7	44.3	27.0	-	2.2	16.5	1.7
	70~79歳	182	58.2	41.8	48.4	23.1	1.6	5.5	24.7	4.4
	80歳以上	115	63.5	46.1	42.6	21.7	1.7	4.3	24.3	5.2
不明	23	39.1	34.8	39.1	21.7	-	-	17.4	26.1	

【回答傾向】

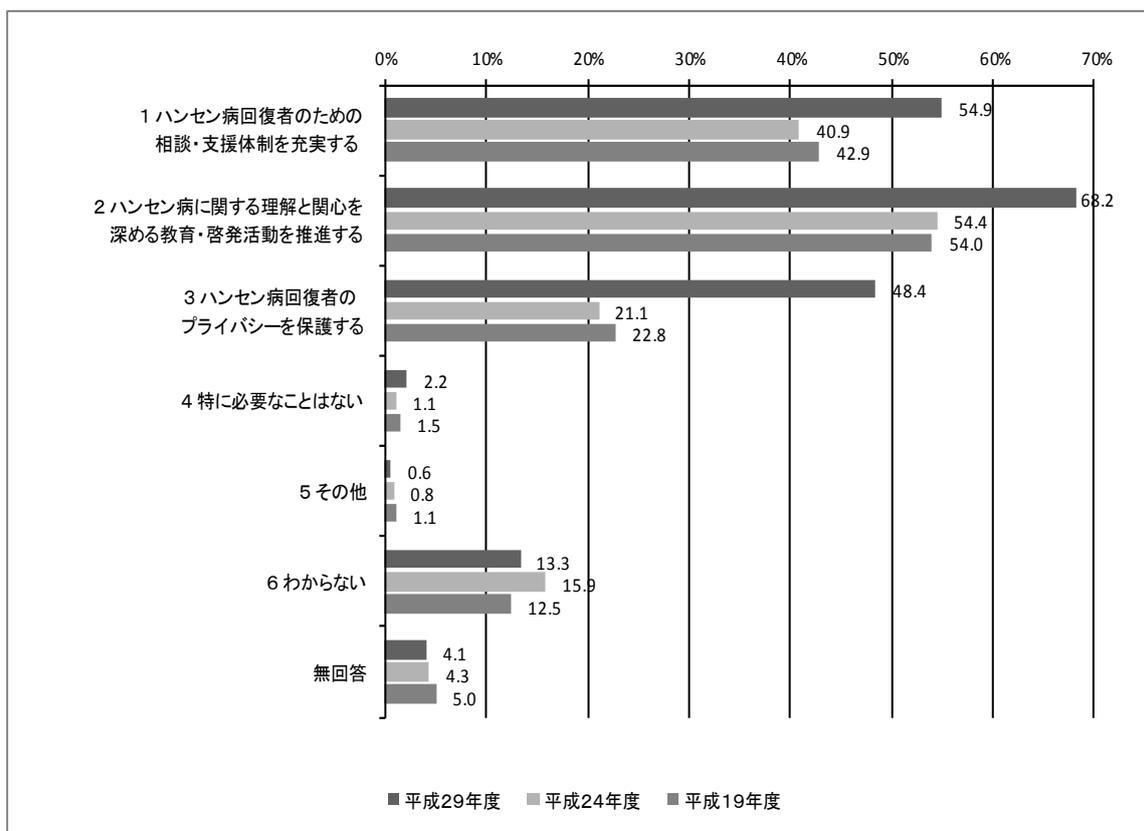
療養所に入所しているハンセン病回復者が、地域で自立した生活をするために、さまたげになると思われることについて、「1 ハンセン病に対して『うつる』『こわい』などの誤解や偏見がある」が64.0%と最も多く、次いで「3 社会だけでなく家族や親戚もつき合いを拒絶する」が42.9%、「2 じろじろ見たり、避けたりする」が41.4%、「4 住宅を容易に借りることができない」が25.1%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 じろじろ見たり、避けたりする」（男性：45.9%、女性：36.8%）、「1 ハンセン病に対して『うつる』『こわい』などの誤解や偏見がある」（男性：67.6%、女性：61.3%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 住宅を容易に借りることができない」（女性：27.7%、男性：22.8%）、「7 わからない」（女性：21.9%、男性：17.8%）となっている。

年齢別でみると、50歳代で「4 住宅を容易に借りることができない」30.1%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問2 1 ハンセン病回復者の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■ハンセン病回復者の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計(人)	1 ハンセン病回復者のための相談・支援体制を充実する	2 ハンセン病に関する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	3 ハンセン病回復者のプライバシーを保護する	4 特に必要なことはない	5 その他	6 わからない	無回答	
総数(N)	1,012	54.9	68.2	48.4	2.2	0.6	13.3	4.1	
性別	男性	527	54.8	71.2	49.0	2.7	0.9	12.5	3.2
	女性	462	55.4	66.0	48.5	1.5	0.2	14.5	3.9
	不明	23	47.8	43.5	34.8	4.3	-	8.7	26.1
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	100.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	47.9	81.3	41.7	-	-	6.3	4.2
	30～39歳	123	47.2	69.9	39.8	2.4	-	17.9	-
	40～49歳	156	49.4	65.4	50.6	1.3	-	12.2	1.3
	50～59歳	133	51.1	72.2	42.9	4.5	1.5	8.3	4.5
	60～69歳	230	57.8	73.5	49.6	0.9	-	11.3	3.0
	70～79歳	182	63.2	62.1	56.0	1.6	1.6	15.4	5.5
	80歳以上	115	61.7	64.3	51.3	4.3	0.9	20.9	7.0
不明	23	43.5	39.1	34.8	4.3	-	8.7	26.1	

【回答傾向】

ハンセン病回復者の人権が守られるために必要と思われることについて、「2 ハンセン病に関する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が68.2%と最も多く、次いで「1 ハンセン病回復者のための相談・支援体制を充実する」が54.9%、「3 ハンセン病回復者のプライバシーを保護する」が48.4%となっている。

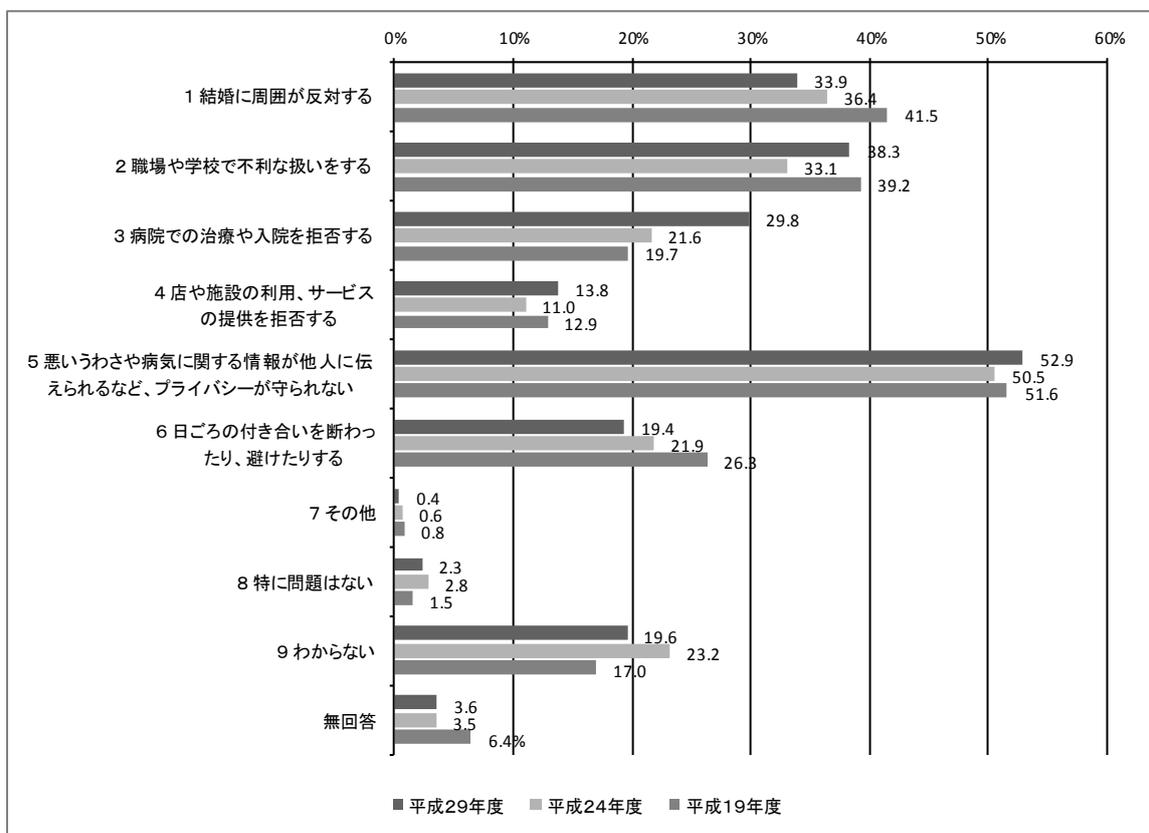
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「2 ハンセン病に関する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」（男性：71.2%：女性66.0%）となっている。

年齢別にみると、「1 ハンセン病回復者のための相談・支援体制を充実する」は70歳代が63.2%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

(8) HIV（エイズウイルス）感染者等の人権

問22 HIV（エイズウイルス）感染者等に関する事で、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思いますか。（○は3つまで）



■HIV（エイズウイルス）感染者等の人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 結婚に周囲が反対する	2 職場や学校で不利な扱いをする	3 病院での治療や入院を拒否する	4 店や施設の利用、サービスの提供を拒否する	5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない	
総数 (N)	1,012	33.9	38.3	29.8	13.8	52.9	
性別	男性	527	34.9	40.6	30.2	13.9	50.5
	女性	462	33.8	36.8	29.2	14.3	56.9
	不明	23	13.0	17.4	34.8	4.3	26.1
年齢別	18～19歳	2	-	50.0	100.0	50.0	100.0
	20～29歳	48	37.5	31.3	25.0	12.5	66.7
	30～39歳	123	35.8	38.2	32.5	17.1	61.8
	40～49歳	156	32.1	39.7	32.1	17.9	60.9
	50～59歳	133	27.8	37.6	33.1	9.8	55.6
	60～69歳	230	28.7	44.3	33.5	12.6	54.3
	70～79歳	182	44.0	40.1	25.3	12.6	45.6
	80歳以上	115	39.1	29.6	20.0	14.8	36.5
不明	23	13.0	17.4	34.8	8.7	26.1	

分類		合計 (人)	6 日ごろの付き合い を断ったり、避 けたりする	7 その他	8 特に問題はない	9 わからない	無回答
総数 (N)		1,012	19.4	0.4	2.3	19.6	3.6
性別	男性	527	20.9	0.4	2.7	18.4	3.0
	女性	462	17.7	0.4	1.9	20.8	2.8
	不明	23	17.4	-	-	21.7	30.4
年齢別	18～19歳	2	-	-	-	-	-
	20～29歳	48	27.1	-	4.2	6.3	4.2
	30～39歳	123	17.9	-	1.6	12.2	-
	40～49歳	156	24.4	1.3	1.3	12.2	0.6
	50～59歳	133	20.3	-	3.0	19.5	2.3
	60～69歳	230	18.7	-	1.7	18.3	2.2
	70～79歳	182	13.2	0.5	2.7	26.9	4.9
	80歳以上	115	22.6	0.9	3.5	33.9	7.8
	不明	23	13.0	-	-	21.7	30.4

【回答傾向】

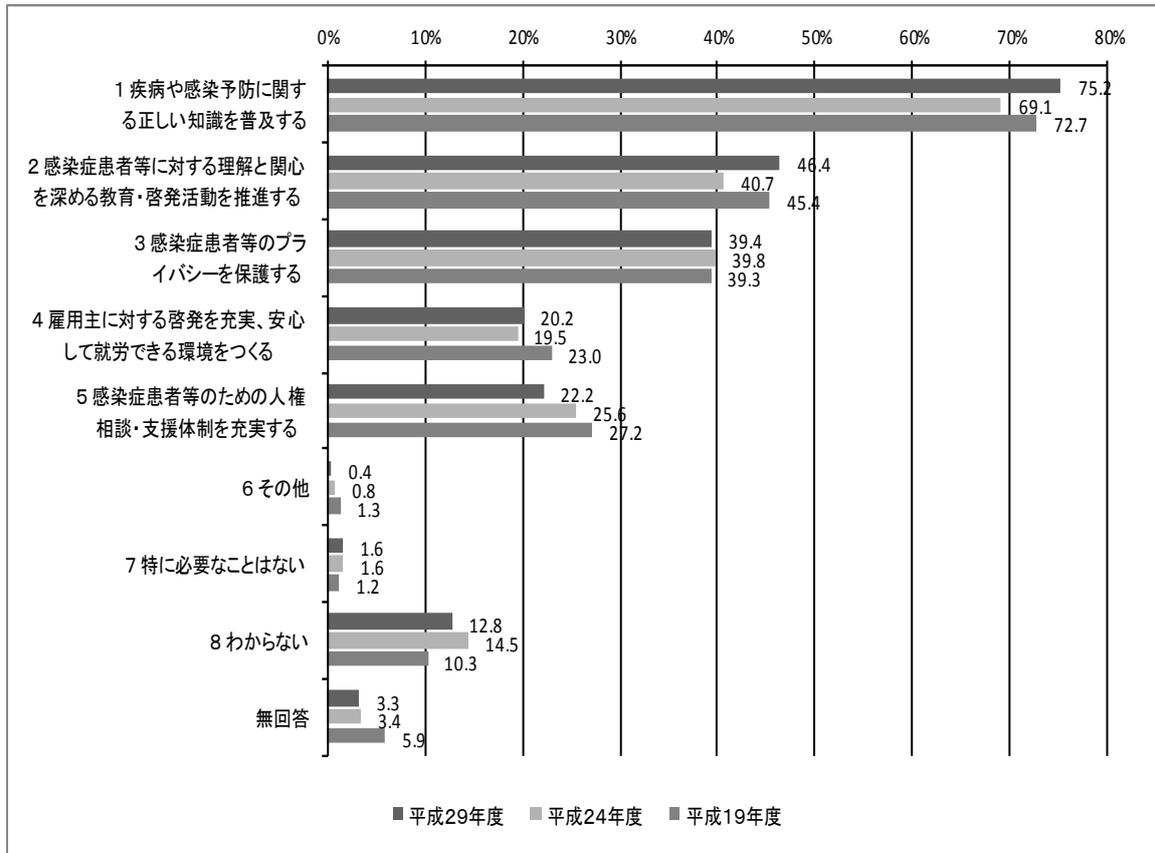
HIV（エイズウイルス）感染者等に関することで、深刻な問題があると思われることについて、「5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」が52.9%と最も多く、次いで、「2 職場や学校で不利な扱いをする」が38.3%、「1 結婚に周囲が反対する」が33.9%、「3 病院での治療や入院を拒否する」が29.8%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 職場や学校で不利な扱いをする」（男性：40.6%、女性：36.8%）、「6 日ごろの付き合いを断ったり、避けたりする」（男性：20.9%、女性：17.7%）であり、一方、男性より女性の割合が高く、差が一番大きい項目は、「5 悪いうわさや病気に関する情報が他人に伝えられるなど、プライバシーが守られない」（女性：56.9%、男性：50.5%）となっている。

年齢別でみると、20歳代は「6 日ごろの付き合いを断ったり、避けたりする」が27.1%、70歳代は「1 結婚に周囲が反対する」が44.0%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問23 HIV（エイズウイルス）感染者等の人権が守られるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（〇は3つまで）



■ HIV（エイズウイルス）感染者等の人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計(人)	1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する	2 感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する	3 感染症患者等のプライバシーを保護する	4 雇用主に対する啓発を充実、安心して就労できる環境をつくる	5 感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する	6 その他	7 特に必要なことはない	8 わからない	無回答	
総数(N)	1,012	75.2	46.4	39.4	20.2	22.2	0.4	1.6	12.8	3.3	
性別	男性	527	77.2	50.3	39.5	18.2	21.4	0.6	2.7	11.0	2.7
	女性	462	73.8	42.9	39.8	22.5	23.6	0.2	0.4	15.2	2.6
	不明	23	56.5	30.4	30.4	17.4	13.0	-	-	8.7	30.4
年齢別	18～19歳	2	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	81.3	50.0	47.9	14.6	31.3	2.1	-	2.1	4.2
	30～39歳	123	79.7	50.4	34.1	30.1	15.4	-	0.8	8.1	-
	40～49歳	156	81.4	44.2	38.5	23.7	21.8	0.6	1.9	7.1	0.6
	50～59歳	133	77.4	47.4	40.6	16.5	21.8	0.8	3.8	9.8	2.3
	60～69歳	230	77.0	48.7	43.9	18.7	23.5	-	0.9	10.9	2.2
	70～79歳	182	71.4	47.3	40.7	15.4	23.1	0.5	0.5	22.5	4.4
	80歳以上	115	62.6	40.0	32.2	21.7	25.2	-	3.5	23.5	6.1
不明	23	56.5	30.4	30.4	17.4	8.7	-	-	8.7	30.4	

【回答傾向】

HIV（エイズウイルス）感染者等の人権が守られるために必要と思われることについて、「1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」が75.2%と最も多く、次いで、「2 感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」が46.4%、「3 感染症患者等のプライバシーを保護する」が39.4%、「5 感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する」が22.2%、「4 雇用主に対する啓発を充実、安心して就労できる環境をつくる」が20.2%となっている。

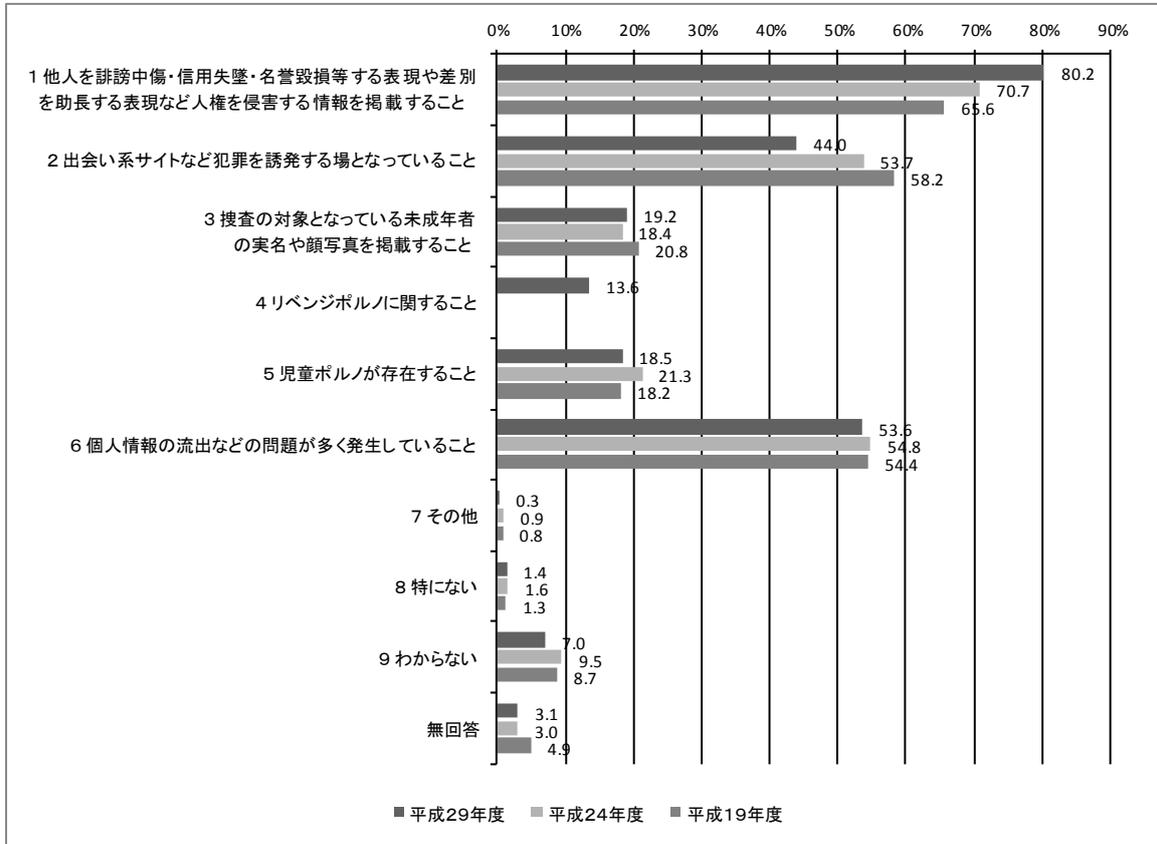
性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「2 感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」（男性：50.3%、女性42.9%）、「1 疾病や感染予防に関する正しい知識を普及する」（男性：77.2%、女性73.8%）、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「4 雇用主に対する啓発を充実、安心して就労できる環境をつくる」（女性：22.5%、男性：18.2%）、「5 感染症患者等の人権相談・支援体制を充実する」（女性：23.6%、男性：21.4%）となっている。

年齢別でみると、30歳代で「2 感染症患者等に対する理解と関心を深める教育・啓発活動を推進する」50.4%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

(9) インターネットによる人権侵害

問24 インターネットを悪用した人権侵害で、次のような問題があります。人権上、どれが深刻な問題だと思えますか。(〇は3つまで)



■インターネットを悪用した人権侵害での人権問題に関する意識

(%)

分類	合計 (人)	1 他人を誹謗中傷・信用失墜・名誉毀損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること	2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること	3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	4 リベンジポルノに関すること	
総数 (N)	1,012	80.2	44.0	19.2	13.6	
性別	男性	527	82.9	44.4	22.0	13.7
	女性	462	78.8	44.2	16.2	14.1
	不明	23	47.8	30.4	13.0	4.3
年齢別	18～19歳	2	50.0	100.0	50.0	50.0
	20～29歳	48	87.5	29.2	20.8	18.8
	30～39歳	123	86.2	30.9	13.8	21.1
	40～49歳	156	85.3	35.3	21.8	21.2
	50～59歳	133	88.7	48.1	17.3	18.8
	60～69歳	230	87.8	50.0	17.8	11.7
	70～79歳	182	68.7	54.9	21.4	8.2
	80歳以上	115	64.3	42.6	22.6	1.7
不明	23	47.8	34.8	13.0	-	

分類	合計 (人)	5 児童ポルノが 存在すること	6 個人情報の流 出などの問題 が多く発生して いること	7 その他	8 特にない	9 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	18.5	53.6	0.3	1.4	7.0	3.1	
性別	男性	527	16.7	52.0	0.2	1.7	5.5	2.3
	女性	462	21.0	56.5	0.4	1.1	8.9	2.2
	不明	23	8.7	30.4	-	-	4.3	39.1
年齢別	18～19歳	2	-	50.0	-	-	-	-
	20～29歳	48	16.7	77.1	2.1	-	-	4.2
	30～39歳	123	22.0	64.2	-	0.8	-	0.8
	40～49歳	156	21.2	63.5	0.6	0.6	0.6	-
	50～59歳	133	21.1	57.9	-	1.5	3.0	0.8
	60～69歳	230	18.3	51.7	-	0.9	5.7	2.2
	70～79歳	182	18.7	45.1	0.5	2.7	13.7	3.3
	80歳以上	115	11.3	35.7	-	2.6	23.5	6.1
	不明	23	8.7	30.4	-	-	4.3	39.1

【回答傾向】

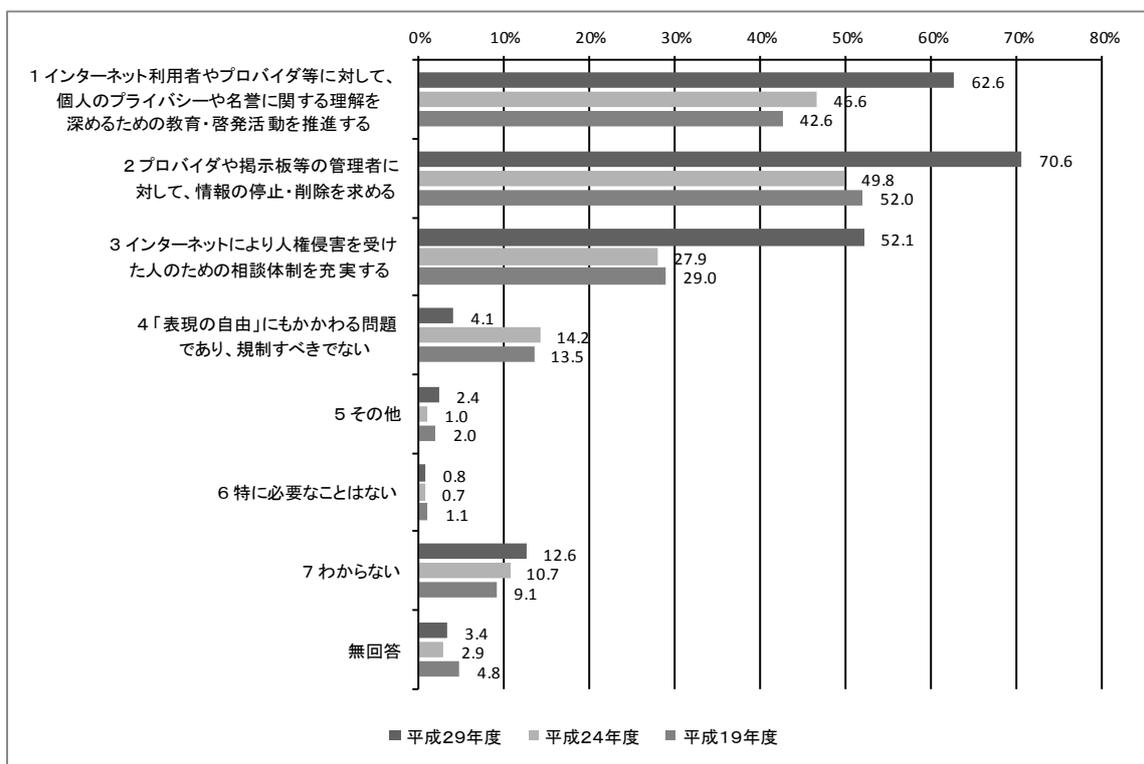
インターネットを悪用した人権侵害で、人権上、深刻な問題があると思われることについて、「1 他人を誹謗中傷・信用失墜・名誉毀損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」が80.2%と最も多く、次いで、「6 個人情報の流出などの問題が多く発生していること」が53.6%、「2 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が44.0%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「3 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること」（男性：22.0%、女性：16.2%）、「1 他人を誹謗中傷・信用失墜・名誉毀損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」（男性：82.9%、女性：78.8%）となっており、一方、男性より女性の割合が高く、差が大きい順より、「6 個人情報の流出などの問題が多く発生していること」（女性：56.5%、男性：52.0%）、「5 児童ポルノが存在すること」（女性：21.0%、男性：16.7%）となっている。

年齢別でみると、20歳代～60歳代で「1 他人を誹謗中傷・信用失墜・名誉毀損等する表現や差別を助長する表現など人権を侵害する情報を掲載すること」と回答した割合が8割を超えており、20歳代で「6 個人情報の流出などの問題が多く発生していること」77.1%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】

問25 インターネットを悪用した人権侵害の解決のためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



■インターネットを悪用した人権侵害から人権を守るために必要なこと

(%)

分類	合計 (人)	1 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する	2 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める	3 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	4 「表現の自由」にもかかわる問題であり、規制すべきでない	5 その他	6 特に必要なことはない	7 わからない	無回答	
総数 (N)	1,012	62.6	70.6	52.1	4.1	2.4	0.8	12.6	3.4	
性別	男性	527	64.7	73.2	55.0	5.1	2.3	0.9	10.1	2.3
	女性	462	61.0	68.8	49.6	2.8	2.6	0.6	16.0	2.8
	不明	23	47.8	43.5	34.8	4.3	-	-	4.3	39.1
年齢別	18~19歳	2	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	20~29歳	48	62.5	72.9	31.3	4.2	8.3	-	2.1	4.2
	30~39歳	123	64.2	74.8	46.3	7.3	4.1	0.8	4.9	-
	40~49歳	156	71.8	76.9	52.6	2.6	3.8	-	4.5	1.3
	50~59歳	133	66.9	78.9	60.9	4.5	1.5	1.5	7.5	0.8
	60~69歳	230	64.3	80.9	59.6	1.3	1.7	0.9	7.0	2.6
	70~79歳	182	60.4	64.3	50.5	6.0	1.1	1.1	23.1	3.3
	80歳以上	115	46.1	42.6	46.1	5.2	0.9	0.9	39.1	7.0
不明	23	47.8	43.5	39.1	-	-	-	4.3	39.1	

【回答傾向】

インターネットを悪用した人権侵害の解決のために必要と思われることについて、「2 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」が70.6%と最も多く、次いで、「1 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」が62.6%、「3 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が52.1%となっている。

性別でみると、女性より男性の割合が高く、差が大きい順より、「3 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」(男性:55.0%、女性:49.6%)、「2 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」(男性:73.2%、女性:68.8%)、「1 インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する理解を深めるための教育・啓発活動を推進する」(男性:64.7%、女性:61.0%)となっている。

年齢別でみると、「2 プロバイダや掲示板等の管理者に対して、情報の停止・削除を求める」が20歳代~60歳代で高く、「3 インターネットにより人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」は50歳代で60.9%と他の年齢層と比較して高くなっている。

【分析】